

平成31年度年間授業計画

教科科目	教科(公民) 科目(現代社会) 単位数:【3単位】
教科担当	(1組:阿部) (2組:阿部) (3組:阿部) (4組:阿部) (5組:阿部)
使用教科書:	現代社会(東京書籍) 標準高等地図 一地図でよむ現代社会-(帝国書院)
副教材等:	

期	月	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定 時数
一 学 期	4	現代社会 青年期の生き方	・青年期とは、自己を確立する基礎を培う重要な時期であることを理解する。 ・自己実現につながる将来の職業生活について考察し、よりよく生きることの大切さを理解する。	定期考査の得点を主に、授業態度、提出物等を総合的に判断し評価する。	33
	5	資源エネルギー問題（日本編）	・我が国の伝統や文化が、私たちの日常生活に様々な影響を与えていることを理解する。 ・北方領土、竹島、尖閣諸島が我が国固有の領土であることを知る。 ・現在の我が国の安全保障について理解するとともに、国際社会の平和と安全の維持において自衛隊が果たしている役割について知る。		
	6	地球環境問題 国際政治の仕組みと動向	・現代のグローバル社会が、国際的な相互依存関係が深まる中で形成されてきたことを説明できる。 ・国際平和の実現や国際的な人権問題の解決に向けて、国際連合や非政府組織などの果たす役割が増大していることを理解する。 ・人種や民族の違いが、宗教や言語などの問題と結び付いて地域紛争を引き起こすことがあることを知る。 ・核兵器をめぐる現状と世界の軍縮への取組について理解する。		
	7	科学技術の発達	・社会とのかかわりが重要であること、社会参加が自己実現の可能性を高めることについて理解する。 ・社会生活を営む上で、自由・権利と責任・義務とは切り離すことのできない関係にあることを理解する。		
二 学 期	9	民主政治とは 基本的人権の保障	・民主政治と国家の在り方について理解する。 ・日本国憲法が保障する基本的人権には、自由権、社会権、平等権などがあり、さらに自由権の内容として、人身の自由、精神の自由、経済活動の自由があることを理解する。 ・日本国憲法の条文を踏まえて、天皇が日本国及び日本国民統合の象徴であることや天皇が行う国事行為について理解する。 ・日本国憲法第13条の「個人の尊重」について正しく理解し、個人の生命・自由及び幸福追求の権利は最大限尊重されなければならないことを知る。	定期考査の得点を主に、授業態度、提出物等を総合的に判断し評価する。	42
	10	平和主義と安全保障	・我が国における平和主義の考え方について、日本国憲法前文や第9条を踏まえて理解する。 ・日本国憲法の条文を踏まえて、天皇が日本国及び日本国民統合の象徴であることや天皇が行う国事行為について理解する。 ・人間は尊厳をもつかけがえのない人格として平等であり、他の人々の願いを自分の場合と同様に尊重することが必要であることを知る。		
	11	日本の政治機構 現代政治の特質と課題	・社会生活を営む上で、自由・権利と責任・義務とは切り離すことのできない関係にあることを理解する。 ・法や社会規範が、私たちの生活のあらゆる領域にかかわっており、私たちの権利を守っていることを理解する。 ・日本の政治制度の基本的な仕組みについて理解する。 ・民主社会における政治参加の重要性について理解し、新聞やニュースなどを通じて、現実の政治の動きについて関心を深める。		
	12	個人の尊重と法の支配	・司法制度の基本的な仕組みについて理解し、我が国では、三審制を採用していることについて説明できる。また、司法制度改革の一環として裁判員制度が導入されたことを理解する。		
三 学 期	1	経済の仕組み 変化する日本経済	・市場が需要と供給をつなぐ取引の場であり、需要と供給の均衡をもたらす「価格の自動調整機能」があることを、A. スミスの「見えざる手」という言葉を使用して説明できる。 ・日本国憲法に規定された勤労の義務や労働基本権について理解するとともに、非正規雇用の増加などに代表される現実の雇用・労働問題について知る。	定期考査の得点を主に、授業態度、提出物等を総合的に判断し評価する。	30
	2	豊かな生活の実現 国際経済の仕組み	・社会保障制度の意義や役割を理解する。中でも医療保険と年金保険については、それぞれ国民皆保険、国民皆年金が整備されていることを理解する。 ・世界的な規模で自由な経済活動が拡大していることを理解する。		
	3	ともに生きる社会をめざして	持続可能な社会の形成に参画することの重要性について理解し、「個人と社会の関係」、「社会と社会の関係」、「現役世代と将来世代の関係」のいずれかに注目して現代社会の諸課題について考察できる。		
					105